

げすいどう 下水道の みち路めぐり

10/18
土



1 西堀通り、広小路

マンホールに注目しよう!

[POINT]

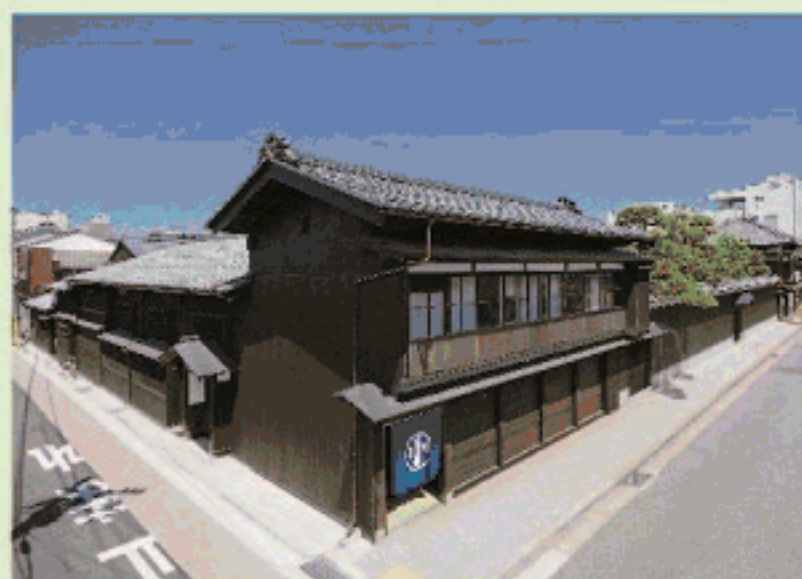
マンホールは、下水管の中を点検したり、清掃したりするために設置しています。その中でも、市内に設置されているデザインマンホール蓋には、その地域の名産品や土地柄を思わせるデザインがされており、どれも個性的で表情豊かです。



2 北前船の時代館(旧小澤家)

[POINT]

北前船で栄えた豪商の屋敷で新潟市に残る町家の中でも最も古いものの一つ。庭園には紀州石・御影石など、船によってもたらされた石材が数多く見られます。



3 早川堀

災害用マンホールトイレってな〜に?

[POINT]

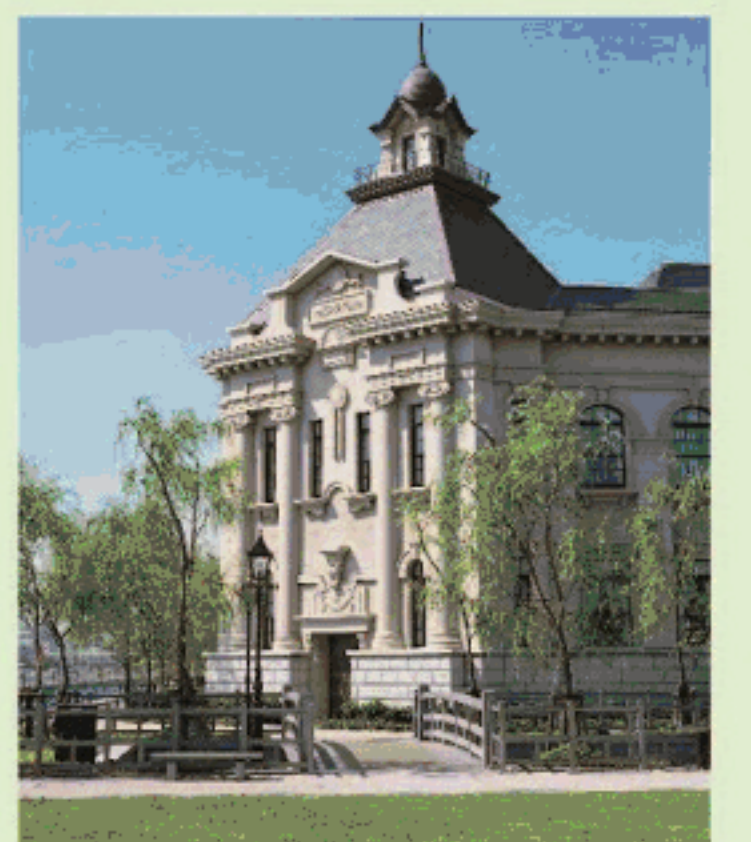
災害時に、マンホールに直接取り付けて、下水管へ汚物を流せるトイレのことです。実際に見てみましょう!



4 みなとびあ

[POINT]

開港5港の一つ、みなとまち新潟の歴史と文化に触れることができる新潟市歴史博物館。重要文化財の旧新潟税関庁舎や昭和初期の建造物旧第四銀行住吉町支店が立ち並ぶ浪漫漂うエリアです。



5 早川堀ポンプ場

[POINT]

早川堀ポンプ場は、新潟島に7つあるポンプ場のうちのひとつで、新潟地震により壊滅的な被害を受けましたが、復旧工事を行い、昭和40年に運転を再開しました。ポンプ場の周辺の土地は、信濃川の水位よりも低くなっていることから、この地域が浸水しないように、雨水を信濃川へ排水するという、重要な役割を担っています。



6 船見下水処理場

[POINT]

船見下水処理場は、昭和39年、新潟市で一番最初に下水処理を開始しました。途中、新潟地震による被害を受けましたが、現在も1日あたり24,500㎡の汚水を処理しています。



ふだんは見えにくい下水道の路(みち)、見えたかな?

